

牧野(淀川上流)探鳥会 2015年1月度

2015.1.4(第1日曜日) 9:00~14:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 南 茂夫、高井 常之、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、

西脇 淳浩、平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

明けまして、おめでとうございます。

お正月三が日は一級の寒波が押し寄せ、近くの山々のみか、平野部も雪化粧をしました。皆さんは「青い鳥・赤い鳥探求派」、それとも寒さに遠慮し「炬燵・蜜柑・テレビ派」だったのでしょか。

年末に対岸の淀川右岸でコミミズクが乱舞したとのこと、多数のカメラマン&ウォッチャーが集まったと聞きましたので、見に行かれた方もあったと思います。昔からコミミズクの名所だったので、今回現地を見ていない私は、今年コミミズクが越冬に来たのは、一昨年から淀川右岸の河川敷の大きな木を切ったためでないかと勝手に推定していますが、現地はどうだったでしょうか。

左岸の牧野では木を切ることで山野の鳥が少なくなることを心配しつつも、草原の鳥が増えることを期待しています。木を切られた後にコミミズクのような、カバーしてくれる鳥がきてくれるといいですが。

1. 先月(14年12月)は猛禽 day

昼食時にノスリ・トビ・カラスの3種がバトルしながら上空を飛び、送電線の鉄塔に休むチョウゲンボウ、目前を猛スピードで通り過ぎたハイタカなど、10分間に4種の猛禽が続いた猛禽 day、トータルではミサゴ・トビ・ハイタカ・オオタカ・ノスリ・チョウゲンボウ・ハヤブサの7種16羽を観察した。

木の実と鳥の関係はナンキンハゼ day、ハンボソカラス・シジュウカラ・コゲラ・アトリ・カワラヒワ・キジバトが群れでナンキンハゼの実をついばんでいました。枚方市の最低気温は0.7℃と真冬並に冷え込んだが、日が射すとともに寒さを感じさせない穏やかな探鳥日和となり、トータル49種も観察できた。

2. 今月の鳥 カワアイサ

牧野探鳥会で観察できるカモの目玉は、カワアイサです。遠くにいる所を望遠鏡で見ても、♀がこのように首を伸ばした真っ赤顔、そして冠羽が広がっている姿を見ることは少ないので紹介します。ほしだ園地でハヤブサを写されている河村壽さんが、12/26 淀川のカワアイサ♀を交野バードに公開されたので、早速利用させていただきました。

カワアイサは潜水し魚を食べるカモ、嘴の先端がクサビのように曲がり、周りに歯のようなギザギザがあるので、捕らえた魚をがっちり啜ることができ、一旦捕らえた魚は絶対逃がさないとのこと。



カワアイサ♀(12/26 河村壽氏)

3. 自転車に気をつけて

牧野探鳥会は鳥が多いけれども、危険と隣り合わせの探鳥地です。鳥を見ていて場所を移動するときは、常に前後左右に目を配り、「自転車から自分を守る」ようお願いします。

右写真は先月、自転車が10数台連ねて通った時の状態、近づくと一触即発です。怪我をするのはバードウォッチャー、保険に入っても痛みまでは補償されません。河川敷の緊急車道はウォッチャーだけの道でないので十分注意して下さい。



自転車部隊と遭遇

4. 次回 2月1日(第1日曜) 9:00~14:00

次々回 3月7日(第1土曜) 9:00~14:00

2月は定例予定通り第1日曜日ですが、3月は**第1土曜日に変更**します。

3月第1日曜日に恒例となった「淀川寛平マラソン」が、今年も開催されることとなりました。牧野探鳥会コースの緊急車道もフルマラソンコースの一部になるため、全面通行禁止になります。このため、6日遅れの第1土曜日7日に開催するので、日を間違いないようお願いします。

